


スライド1

らくらく会計の共通説明


新年度更新処理

新年度の更新処理について説明します。

スライド2

新年度になってもそのまま仕訳入力
↓
前年度の会計が確定したら、新年度更新処理を実行
↓
新年度更新処理を実行すると、次のような処理が実行されます。

- 新年度のデータフォルダが作成
- 新年度の開始貸借対照表が作成
- 次年度予算が当年度に当初予算に移動
- 新年度の伝票のみが、新年度のデータフォルダに移動

以上のように、前年度から新年度へ連続して移行できます。

らくらく会計では、新年度になっても、そのまま引き続き、新しい年度の仕訳伝票の入力が出来ます。
前年度の決算書が、確定してから、新年度更新処理を実行してください。
この処理を実行すると、
繰越金、前年度事業実績、が自動的に繰り越され、

次年度予算は、当年度の当初予算に、入ります。
また、新年度の仕訳伝票のみ、新年度のデータフォルダに移動します。

スライド3

データベース名【2012年】

新年度更新処理

すべての部門(経理区分)が同時に新年度更新処理されます。

詳細な説明はここをダブルクリック

データベース名

前年度 2012年

↓

新年度 2012年

新年度のデータベース名を入れてください。

会計期末期日

前年度会計と新年度会計の境になる期日

2013年 3月 31日

会計期末の正しい期日が自動的に出ますが、もし違って
いる場合はこの処理を中断して、会計期首期日や会計の
選択をもう一度、確認してください。

実行

キャンセル

0%

補助作業メニューの中にある、新年度更新処理のボタンを押すと、このような画面が出ます。

スライド4

データベース名【2012年】

新年度更新処理

すべての部門(経理区分)が同時に新年度更新処理されます。

詳細な説明はここをダブルクリック

データベース名

前年度 2012年

↓

新年度 2013年

新年度のデータベース名を入れてください。

会計期末期日
前年度会計と新年度会計の境になる期日

2013 年 3 月 31 日

会計期末の正しい期日が自動的に出ますが、もし違って
いる場合はこの処理を中断して、会計期首期日や会計の
選択をもう一度、確認してください。

実行

キャンセル

0%

新年度のデータベース名に変えてください。

既定値では、この画面例のように、西暦年度を相対データベース名としてしていますので、この例では、2013 としてください。

スライド5

データベース名【2012年】

新年度更新処理

すべての部門(経理区分)が同時に新年度更新処理されます。

詳細な説明はここをダブルクリック

データベース名

前年度 2012年

↓

新年度 2013年

新年度のデータベース名を入れてください。

会計期末期日

前年度会計と新年度会計の境になる期日

2013 年 3 月 31 日

実行

キャンセル

0%

会計期末期日は、変更する必要はありません。
前年度の会計の期末期日であることを確認してください。

スライド6

データベース名【2012年】

新年度更新処理

すべての部門(経理区分)が同時に新年度更新処理されます。

詳細な説明はここをダブルクリック

データベース名

前年度 2012年

↓

新年度 2013年

新年度のデータベース名を入れてください。

会計期末期日

前年度会計と新年度会計の境になる期日

2013年 3月 31日

会計期末の正しい期日が自動的に出ますが、もし違って
いる場合はこの処理を中断して、会計期首期日や会計の
選択をもう一度、確認してください。

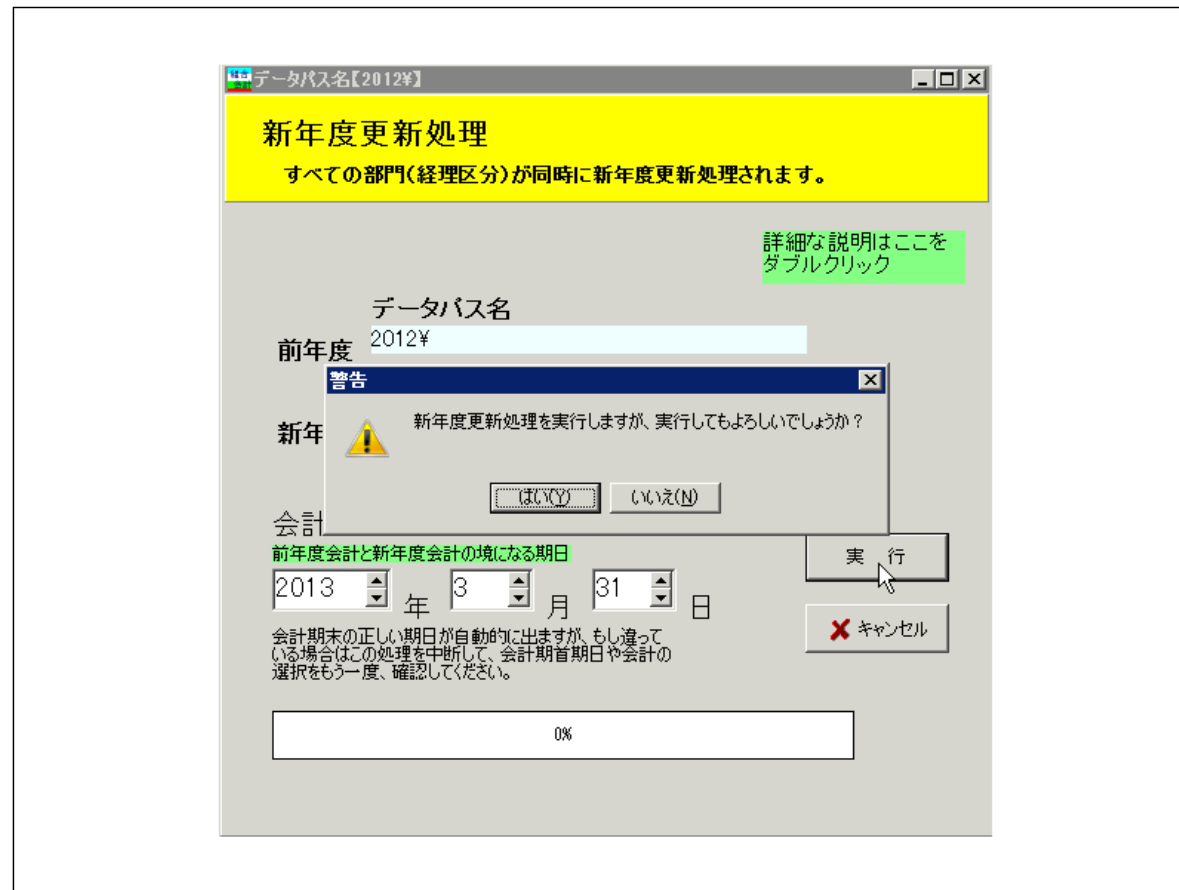
実行

キャンセル

0%

確認が出来ましたら、実行ボタンを押してください。

スライド7



このようなメッセージが出ますので、そのまま実行してください。
以上の実行で、最初に述べた処理がすべて完了します。

スライド8

新年度の更新処理が終わったら、
初期設定メニューで、

会計期首、繰越金、新年度の予算、前年度実績などを
確認してください。

以上で、新年度更新処理についての説明を終わります。
この画面を閉じて、次の説明を見てください。

新年度の更新処理が終わったら、
初期設定メニューで、
会計期首、繰越金、新年度の予算、前年度実績などを
確認してください。

以上で、新年度更新処理についての説明を終わります。
この画面を閉じて、次の説明を見てください。